

お知らせ

竹内峯が不在の時は土佐誠 (電話同上 内線 3318).

なお、学科事務室の電話は内線 3327 です。

東北大学理学部天文学教室教官公募

公募人員: 助手1名

専門分野: 天文学

理論的研究を行う人で、年齢はおおむね35歳未満であること。

着任時期: 決定後できるだけ早い時期

提出書類: 履歴書, 論文リスト, 主要論文別刷, 研究計画書, 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先または推薦書2通。

応募締切: 1989年5月31日必着

宛先: 〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉

東北大学理学部天文学教室

主任 竹内 峯

(封筒に助手応募書類在中と明記のこと)

問合せ先: 竹内 峯 (電話 022-222-1800 内線 3322),

国立天文台教官公募

公募人員: 教授1名, および教授または助教授1名

専攻分野: 光学赤外線天文学 (国立天文台の当該分野では、銀河・恒星・太陽系天体の物理的研究を行い、共同利用の観測所を運用しています。また、特に大型光学赤外線望遠鏡計画の作業母体となっていますので、研究と共に、計画の推進にも積極的な役割を果す方を希望します。)

着任時期: 決定後可能なかぎり早い時期

勤務地: 三鷹

提出書類: (1)略歴 (2)研究歴 (3)論文リスト及び主要論文別刷 (4)「教授」または「助教授」の希望種別 (5)(自薦の場合) 研究計画及び本人について意見を述べることのできる人2名の

賛助会員名簿

(1989年3月5日現在の国会賛助会員は下記のとおりであります。ここに社名, 代表者名を掲載させて頂いて感謝の意を表します。(五十音順))

旭光学工業株式会社
朝日新聞社科学部
アストロ光学工業株式会社
(株)アムテックス
岩波書店
宇宙開発事業団
大阪市立電気科学館
沖電気工業株式会社
第2営業本部
カールツァイス株式会社
河出書房新社
(株)教育社 Newton 編集室
啓文堂松本印刷社
国際文献印刷社
コダック・ナガセ(株)
恒星社厚生閣
五藤光学研究所
コロンビヤ貿易株式会社
金光教本部教庁
(株)三
サンシャインプラネタリウム
スライデックス(株)
誠文堂新光社
(株)立風書房
地人書物館
天文博物
五島プラネタリウム
東京学術印刷株式会社
東京電力株式会社
中央給電指令所
(株)東

松本徹
森 曉
岩川毅
佐藤邦男
緑川享
山内正男
北澤淳
一の宮明男
ハインツ・シュミット
清水勝夫
寺門和夫
松本喬弘
笠井康弘
澤田卓也
佐竹久男
五藤隆一郎
金光鑑太郎
恒川稔朗
佐々木永祐
尾関茂郎
小川茂男
下野博夫
中田威夫
五島昇二
船越昭二
青井舒一

東北電力株式会社
名古屋放送株式会社制作部
ナルミ商会
(株)西村製作所
(株)ニ川製ソ
日本コントロール
システム株式会社
(社)日本測量協会
日本通信機株式会社
日本特殊光学
(株)ニホン・ミック東京本社
日本ユニシス株式会社
中 部 支 社
日本洋書販売給株式会社
(株)ニユートリノ
ネイチャー・ジャパン(株)
浜松ホトニクス株式会社
ファコム・ハイタック(株)
ファコム本部文教営業部
富士通株式会社
システム統轄部
丸善株式会社
三鷹光器株式会社
三菱電機株式会社
宇宙衛星通信部
ミノルタカメラ株式会社
森田清
雄山閣出版株式会社
(株)渡辺教具製作所

玉川敏雄
乘松俊作
村上俊男
西村晃一
福岡成忠
和田繁彦
坪川家猛
中山田坂雄美
萩村一
黒木建雄
渡辺正義
山本義朗
David D. Swinbanks
晝馬輝夫
村林正昭
小坂義裕
海老原熊雄
中村義一
望月孝則
田嶋英雄
長坂一雄
渡辺哲郎

氏名及び連絡先 (6) (他薦の場合) 推薦書

提出先: 〒181 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 台長 古在由秀

公募締切: 1989年5月20日(土) 必着

問い合わせ先: 国立天文台 小平桂一

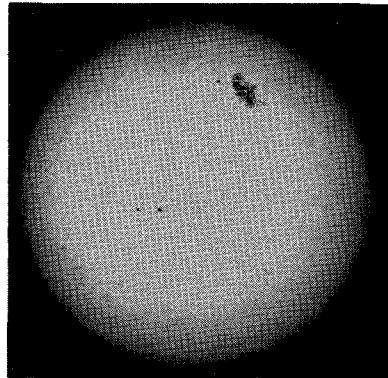
Tel. 0422-32-5111

その他: 封筒の表に「光学赤外公募書類」と朱記のこと。

雑 報

今期最大の黒点が出現

写真の黒点は3月6日に東のリムに出現し、その後徐々に面積を増大させながら高い活動性を示している。3月14日までにおこった主なフレアは、6日 9:54 (JST) 2B リムフレア、6日 22:13 3B/×15、10日 00:38 4B/×4、11日 04:22 3B/×4.5 などで、フレアのなかでも最大級のものである(数字は H α インポートランス/X線フラックス)。黒点面積は3月13日において太陽面の百万分の1を単位として約 3600 で、これも観測史上



国立天文台(三鷹)にて Mar. 13, 1989 09^h22^m

10 指に入るものと思われる。又、黒点相対数は現在すでに 150 を越えており、前活動期に匹敵する。過去における黒点相対数の上昇速度と活動のピーク時期との相関関係から、今活動周期のピークがかなり早く(今年の暮?) やってくるのではないかと、という予測がされている。

◇ 4 月 の 天 文 暦 ◇

日 時 分	記 事
2 11 53	海王星 西矩
3 18 46	土 星 西矩
4 22 36	水 星 外合
5 8 29	金 星 外合
6 4 33	月 最近
6 12 33	朔
9 18 17	天王星 留
13 8 13	上 弦
14 7 13	海王星 留
19 6 11	月 最遠
21 12 13	望
23 8 55	土 星 留
29 5 46	下 弦

1989年1月の太陽黒点 (g, f) (国立天文台)

1	—, —	11	15,	232	21	10,	62
2	12, 159	12	—, —	—	22	15,	75
3	12, 66	13	—, —	—	23	—, —	—
4	10, 87	14	—, —	—	24	12,	132
5	10, 100	15	—, —	—	25	10,	149
6	14, 95	16	9, 118	26	—, —	—, —	—
7	10, 128	17	8, 162	27	6, 141	—, —	—
8	—, —	18	11, 183	28	7, 189	—, —	—
9	—, —	19	11, 111	29	11, 155	—, —	—
10	13, 189	20	—, —	30	8, 180	—, —	—
(相対数月平均値: 146.7)				31	10, 183		

◇ 4 月 の 日 月 惑 星 運 行 図 ◇

